

令和5年11月30日

保護者の皆様

マルガリタ幼稚園
園長 川田 紀美子



「秋の遠足」は残念ながら中止となりましたが、先生方の「どうか子ども達を喜ばせたい」という思いで、その日は、異学年、同学年でいつもと違った昼食風景が見られました。お母さんの愛情たっぷりのお弁当とおやつを嬉しそうにいただいている子ども達の様子に、私は「ほっ」としました。「神様はきっとお天気にしてくれる」と信じていた子ども達ですが、当日、神様のご計画は別案でした。

この日を境に気温が下がり、一気に秋の深まりと寒さすら感じました。
暦は明日から12月。カレンダーの最後のページです。

マルガリタ幼稚園はカトリックの園として、クリスマスに向かう、クリスマスを待つ日々は「待降節」の中で、子ども達の心は準備されていきます。

クリスマスは、神様でいらっしゃるお方が赤ちゃんの姿で人間としてお生まれになった日を記念し、世界中で祝います。父なる神様はイエス・キリストを最高のプレゼントとして私達に送って下さいました。その時の神様のお心、思いを深く感じとることが大切です。そこには神様の愛がかくされています。

そして、クリスマスの主人公は、もちろんお生まれになったばかりの赤ちゃんイエス様です。しかも家畜小屋の中、ベッドは飼い葉桶。でも、おそばにはマリア様とヨゼフ様が、そして素朴な羊飼い達がありました。ベトレヘムの馬小屋は、家庭の原点であり、世界平和の原点であると思います。

今、戦下の地で、避難先でクリスマスを迎える多くの子ども達のために祈り、小さな愛の実行をご家族で話し合ってください。今年もマルガリタ幼稚園として、「クリスマス献金」(別紙)に参加したいと思います。

12月8日(金)は、一足早い「クリスマス遊戯会」です。皆様への感謝として子ども達は、喜んでこの会をプレゼントすることでしょう。ご来場お待ちしております。



1) クリスマス遊戯会の総練習と集合写真について

12月4日(月) いちご組・年少組・年中組の総練習

12月6日(水) 年長組の総練習

※他学年のダンスや遊戯、劇、聖劇を見学します。また、この総練習の時に舞台上、集合写真の撮影をクラスごとに行います。

2) クリスマス遊戯会準備について

12月7日(木) は、クリスマス遊戯会の準備のため**午前保育**です。

3) クリスマス遊戯会について

12月8日(金)

詳細は、先日の「クリスマス遊戯会」のお知らせをご確認ください。

4) マルガリタ文庫閉館日について

12月11日(月)

この日は返却のみです。

5) 12月のお誕生会について

12月13日(水) 10時よりホールにて。12月生まれのお子様の保護者2名と未就園児が参加できます。

6) お弁当最終日について

12月15日(金) がお弁当の最終日になります。

毎日おいしいお弁当を作ってくださいありがとうございました。



今冬の「インフルエンザ」罹患後の登園許可証について

「季節性インフルエンザと診断された場合、『登園許可証』が必要です。」
(その他の感染症も同様)

園児が「検査陽性」または、「臨床上季節性インフルエンザ」と診断された場合、発症時に必要な出席停止期間の見込みを記入の上、登園許可証を発行していただきます。

※出席停止期間は、発症後5日を経過し、且つ、解熱後2日（幼児は3日）を経過するまで。

(今までは、症状消失後に再度医療機関を受診し、医師から登園許可証を交付。)

※登園許可証は、事務室交付、またはホームページよりダウンロードができます。

今までと同様、引き続き以下のことをお願いいたします。

- ・同居している家族がインフルエンザに罹った場合、本人が罹っていない時でも登園を控えてください。(出席停止の扱い)

※その他の感染症についても同様です。

- ・ご家族の中で、兄姉の学級閉鎖、学年閉鎖などがあつたとしても、兄姉が罹っていなかったら、登園は可能です。



待降節について



幼稚園での待降節 11月27日（月）～12月8日（金）まで

① 待降節の実行について

幼稚園では、イエスさまへのプレゼントは心のプレゼントです。我慢する心、やさしい心、感謝の心・・・ご家庭でも子どもたちと話し合っ、イエス様への心のプレゼントを準備して、クリスマスを迎えましょう。ご協力をお願いいたします。

② クリスマス献金について

今年1年間いただいた恵みに感謝し、イエスさまが一番喜ばれるプレゼントを目に見える形として、クリスマス献金にいたします。まだ幼い子どもたちですが、小さいうちから地球の家族の一員として、貧しさを余儀なくされているアジア、アフリカ、南アメリカなどの人々、また、日本でも6人に1人の割合で貧困家庭の子どもたちがいること、難民として沢山の子どもたちが苦しんでいることを話して聞かせ、子どもたちなりに苦しむ方々の痛みを感じながら、献金ができたらと思います。自分の欲しい物や、好きなお菓子を少し我慢して、子どもたちが実際に痛みを感じたものになるようにご指導ください。

本日、お配りした献金袋に入れて12月15日（金）に持たせてください。

家族揃って献金をしてくださるご家庭もあって、とてもありがたいことだと思っています。その献金は、日本カトリック児童福祉会を通して今一番必要とされているところに送りたいと思います。送り先は後日お知らせいたします。

献金と我慢した心のプレゼントは、終業式の中でクラスの代表の子どもが

お捧げします。忘れずに持たせてください。

【 お 願 い 】

献金袋の中に、**献金と我慢したもの、我慢したことを紙に書いて**入れてください。